

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年3月30日
2次評価日（課長等）	30年5月31日

1 事業名	予防接種事業	コード	42201
-------	--------	-----	-------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 健康推進課	作成者 上原 幸代
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	保健・医療の充実	施 策	予防対策の推進
		予算科目	予防事業費	業務委託	全部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事业）	国県補助	あり
		根拠法令	予防接種法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	各種定期予防接種（四種混合、二種混合、不活化ポリオ、麻しん風しん混合、BCG、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、子宮頸がん、B型肝炎、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌）事業の実施。		
目的	対象者	市民	
	意 図	市民の感染症の発生の予防及びまん延防止を図り、健康な生活を送れるようにする。	

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>予防接種法に基づく定期予防接種を次のように実施した。</p> <p>○実施状況</p> <p>①四種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・急性灰白髄炎） 第1期 初回3回 実施者：延べ964人、追加 実施者：318人</p> <p>②二種混合（ジフテリア・破傷風）第2期 実施者：431人</p> <p>③不活化ポリオ（未接種者のみ） 初回3回 実施者：2人、追加 実施者：2人</p> <p>④麻しん風しん混合 1期 実施者：335人 2期 実施者：326人</p> <p>⑤BCG 実施者：318人</p> <p>⑥日本脳炎 1期初回2回 実施者：延べ704人、追加 実施者：414人 2期 実施者：342人、特例 実施者：337人</p> <p>⑦子宮頸がんワクチン（3回）…積極的勧奨差し控え中 実施者：延べ3人</p> <p>⑧ヒブワクチン（4回） 実施者：延べ1,256人</p> <p>⑨小児用肺炎球菌ワクチン（4回） 実施者：延べ1,258人</p> <p>⑩水痘（2回） 実施者：延べ642人</p> <p>⑪B型肝炎ワクチン（3回） 実施者：延べ933人</p> <p>⑫高齢者インフルエンザ 65歳以上対象者：16,571人 実施者：8,393人</p> <p>⑬高齢者用肺炎球菌ワクチン 年度年齢対象者：3,665人 実施者：1,611人</p> <p>○実施場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センター（各月5回 計60回）…①四種混合、⑤BCG、⑥日本脳炎（第1期）、（③不活化ポリオ） ・指定医療機関（通年）…④麻しん風しん混合、⑥日本脳炎（特例）、⑦子宮頸がんワクチン、⑧ヒブ、⑨小児用肺炎球菌、⑩水痘、⑪B型肝炎、⑬高齢者用肺炎球菌、⑫高齢者インフルエンザ（期間限定） ・市内小学校（各校2回 計14回）…②二種混合、⑥日本脳炎（第2期） 			
前年度の課題への対応	保健センターでの集団接種において、同一ワクチンの接種間隔については、受付の段階で保護者に再度確認することで、接種間隔誤りを未然に防ぐことができた。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 活動指標（指標名）	接種者			単位 人
実績値	17,998	18,762	18,589	
*指標の説明	接種者数は、定期接種の合計			
② 成果指標（指標名）	対象者に対する接種者の割合（接種率）			単位 %
目標値	53.1	52.0	52.0	50.6
実績値	52.0	52.0	50.6	
達成度	97.9%	100.0%	97.3%	
*指標の説明	高齢者インフルエンザの接種率			
*目標値の設定方法の説明	前年度の実績値			

7 ア) コストの推移

*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	103,334,471	105,359,862	101,731,636	107,768,000
経常経費	103,334,471	105,359,862	101,722,676	107,768,000
臨時的経費	0	0	8,960	0
* 臨時的経費の説明	B型肝炎ワクチン予防接種給付金（平成29年度のみ）			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	9,920,000	9,920,000	9,920,000	9,920,000
正規職員の人数(人)	1.24	1.24	1.24	1.24
③ 合計コスト(①+②)	113,254,471	115,279,862	111,651,636	117,688,000
前年度比		101.8%	96.9%	105.4%
財源内訳				
一般財源	113,177,971	115,253,762	111,625,536	117,610,000
特定財源	76,500	26,100	26,100	78,000
* 特定財源の説明	予防接種健康被害対策事業負担金			
④ 活動一単位あたりコスト	6,293	6,144	6,006	
前年度比		97.6%	97.7%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
予防接種事故賠償補償保険掛金	件数	1	1	1	1
	金額	98,036	97,255	96,466	97,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	98,036	97,255	96,466	97,000
	割合	0.09%	0.09%	0.09%	0.09%

*行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

*妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

*有効性=成果指標（項目7/住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 97.3%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 97.3%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 予診票を再発行する際の接種履歴の確認の徹底。
改善 方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 健康管理システムで接種履歴を職員2名で確認するとともに、記録簿を作成し、不必要な接種をすることのないよう体制を整える。
改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---